

あれこれ2題

池田 勉（岡山県配合飼料価格安定基金協会常務理事：岡山県職員OB）

1. 仕事のこと

近年における異常気象、原油高騰による諸物価の値上がり、われわれ畜産関係者にとって切実なトウモロコシをはじめとする配合飼料原料の高騰など腹立たしい現象が続出している。

これらが物価上昇の原因として、サブプライム問題により行き場を失った余剰資金が穀物市場や石油その他の商品市場に流入し、物価の上昇に拍車をかけたことが大きな原因だといわれている。

私ども社団法人岡山県配合飼料価格安定基金協会の主たる業務である配合飼料価格安定事業では昨年度（平成19年1月～12月）、補てん対象数量約37万トンに対し、25億7千万円余の補てん金の交付業務を行っている。

最近の配合飼料の原料情勢では、この8月12日の米国農務省発表の月例の「米国コーン需給予測」では、コーンの生育や受粉に好適な気候により新穀の生産予想は、138.8億ブッシェル（1ブッシェル約25kg）と昨年の上最高に次ぐ生産量となる見通しを発表した。

シカゴ相場は、6月末には7.75ドルと急騰したが、その後は一転して急落し、この8月初めには瞬間5ドルの水準を割り込んだが、最近は5.50ドルを挟んだところでもみ合っている。

需要についても、異常な高値により急増していたエタノール向け需要が、工場の建設延期や採算悪化による操業中止などによりブレーキがかかりつつある情勢にあるといわれている。

これらのことから配合飼料価格は、かなり下がってもよいと思われるが、飼料メーカーは10～12月仕向けの原料のうち大部分を早い時期において、高い水準の価格で手当済みであること、さらに、ドル安、海外運賃の値上げ等が

考えられたことから、7～9月期より若干の値上げが見込まれている。今後、飼料価格の見通しはいろんな諸要因が流動的な動きを見せているため予測しがたい状況である。

2. 遊びのこと

45歳でゴルフをはじめ、25年になろうとしているが、スコアの方は下がる一方である。

若い時分、ずいぶんと周りの人に「ゴルフはいいぞ」と勧められたことがあったが、止まっているボールを打って何が面白いもんかと思いきみ躊躇していた。始めて見ると、こんなに心の躍る楽しいものがあっただかと感激し、2年目には年間56ラウンドした記録が残っている。

県畜産課OB会で故人となられたT先輩が70歳を過ぎた今でもゴルフへ行く前の晩は、「嬉しゅうて眠れんのじゃ」とよく話されていたが、確かにそのとおりである。数年前テレビで見たことがあるが、ゴルフの大好きな夫婦が生前墓をこしらえていたが、普通であれば墓石の正面には「〇〇家之墓」と刻むところを長方形の墓石を横にして、ゴルフ場のグリーンとピン、それに向かって白いボールが突き進んでいる画が刻まれていたのを見たことがある。

生前、ゴルフにより人生をより豊かなものにしてもらったという感謝の気持ちと、来世でも思う存分夫婦でゴルフを楽しみたいという願いが込められているように感じられた。我々県畜産課OB会員の集まりで「トータスゴルフクラブ」があるが、このクラブは昭和56年1月に結成されたもので、平成15年5月に500回開催記念を行いました。今日現在も延々と引き継がれている。

現在のメンバー構成は、80代4名、70代3名、60代5名の計12名となっている。

春と秋には、泊まり込みの大会があるが、夜

の宴会でも実によく酒を飲み、途切れることごとく誰かがカラオケを歌い、顔を見なかったら、どこの若者集団かと思うくらいの賑やかさである。

わが愛すべき大先輩方との楽しいゴルフのお付き合いに、耐える日が来ないことを願いながら、明日のトータスクラブの例会に備えこれからクラブを磨くことにしよう。

ホットニュース



岡山県畜産協会では、配合飼料の高騰などにより大変厳しい畜産経営を支援するため、経営相談窓口を開設しています。第1回目は8月1日、真庭市の全農総合家畜市場で開設しました。これからも、各畜産共進会の会場で開設しますので、お気軽にお立ち寄り下さい。